

取扱説明書

重要項目

この取扱説明書には下記のマークをつけています。



危険

重大な事故になります。



警告

重大な事故の原因となります。



注意

けがや器具損傷の原因となります。



特に読んでいただきたい内容

※第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。

ご使用前に本紙最終ページ「保証規定」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。また取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

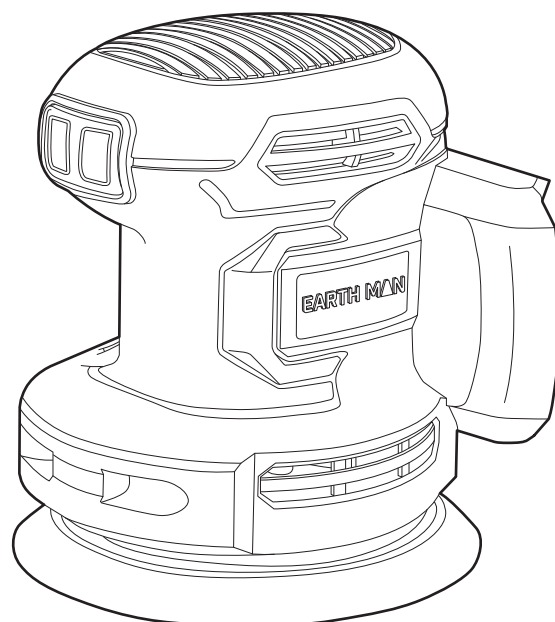
LINE登録で便利な機能が使える!

- ・スマートフォンで取扱説明書が読める
- ・使い方の動画が見れる
- ・商品の詳細が確認できる

LINE登録はコチラ!



高儀LINE公式アカウント @974jipyk



安全上のお知らせ

- バッテリーパックを使い切った後は、目安として30分以上本体を休ませてください。
- 取扱説明書に記載されている能力を超える作業には使用しないでください。
- サンディングペーパーを加工面に必要以上に強く押し付けないでください。

木材・金属のサンディング・塗装はがし・さび落とし・ポリッシング作業に



バッテリーパックと充電器についてはそれぞれの取扱説明書に従い、正しく使用してください。



用 途

木材・金属のサンディング・塗装はがし・さび落とし・ポリッシング作業に使うことができます。
1回の充電で約15～60分連続使用することが可能です。(2.0Ahバッテリーパック取付け時)
また、用途に応じて回転数を調節することができます。

※ご使用開始前やお手入れ等の際にはこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

※バッテリーパック2.0Ah取付け時の数値です。バッテリーパック4.0Ah取付け時の能力は約2倍、5.0Ah取付け時の能力は約2.5倍になります。

※バッテリーパックをフル充電した1回あたりの作業量目安(周囲温度20℃)

各部の名称・セット内容

本 体

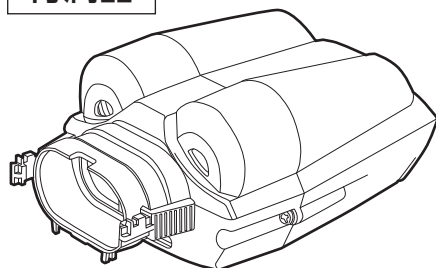
- スイッチ
電源のON/OFFを切り替えます。

- ベースパッド
スポンジパッドやサンディングペーパーを取り付けます。

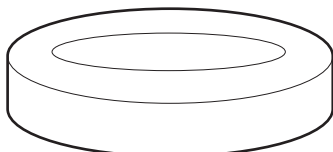
- 速度調節ダイヤル
回転速度を調節します。

- 通気孔
モーターの熱を逃がします。
※通気孔をふさがないでください。

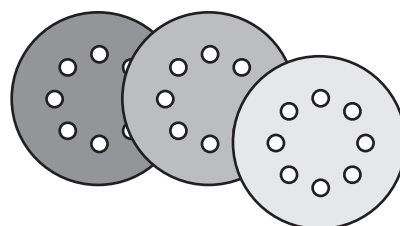
付属品



- ダストカップ ×1
本体に接続して研磨粉を溜めます。



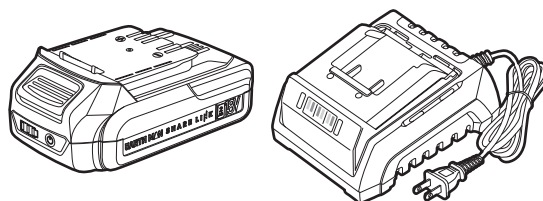
- スポンジパッド ×1
ポリッシング作業時に使用します。



- サンディングペーパー
#60・#80・#120×各1
木材・金属のサンディング・塗装はがし・さび落としに使用します。

ご使用になる前に

- 以下の文章は本体に関する内容です。
バッテリーパック・充電器についてはそれぞれの
取扱説明書に従い正しく使用してください。



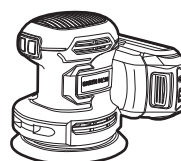
危険 重大な事故になります。

バッテリーパック装着状態で1m以上の高さから落下させたり、強い衝撃を与えた場合は直ちにその使用を中止すること。



警告 重大な事故の原因となります。

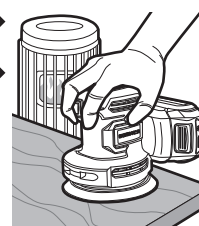
- 作業をするとき以外は必ずバッテリーパックを本体から外すこと。
- 作業前に必ず埋設物がないことを十分に確認すること。



- 作動中の先端パーツには絶対に触れないこと。



- ガソリン・ガス・塗料・接着剤等、爆発や引火のおそれがある物質の近くでは絶対に使用しないこと。



- 石綿が含まれている材料には絶対に使用しないこと。
健康に悪影響があります。

注意 けがや器具損傷の原因となります。

- 使用中は本体の通気孔を布などで覆ってふさがないこと。
- 当社純正の充電器やバッテリーパックを使用すること。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないこと。
- 先端パーツを装着したまま放置しないこと。

使用前の準備

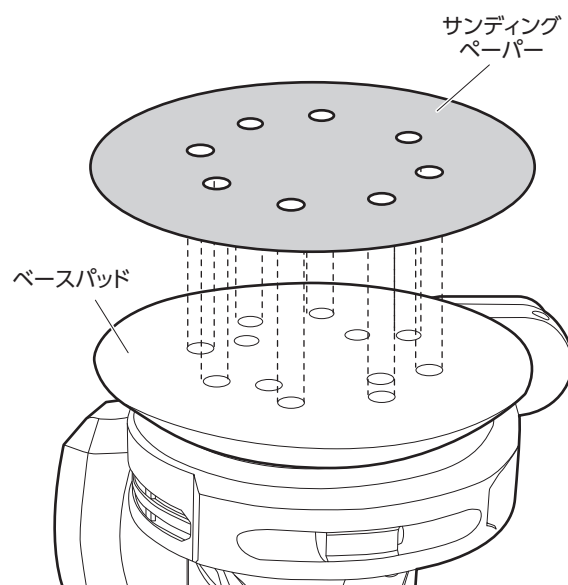
サンディングペーパーの取付け

サンディングペーパーの穴と、ベースパッドの穴の位置を合わせながら、ベースパッドにサンディングペーパーをしっかりと貼り合わせてください。

作業の目安

加工内容	サンディングペーパー		
	粗仕上げ	中仕上げ	仕上げ
合板	#120	—	—
軟らかい木材	#60	#80	#120
硬い木材	#60	#80	#120

※表は目安です。使用状況・条件によって異なります。



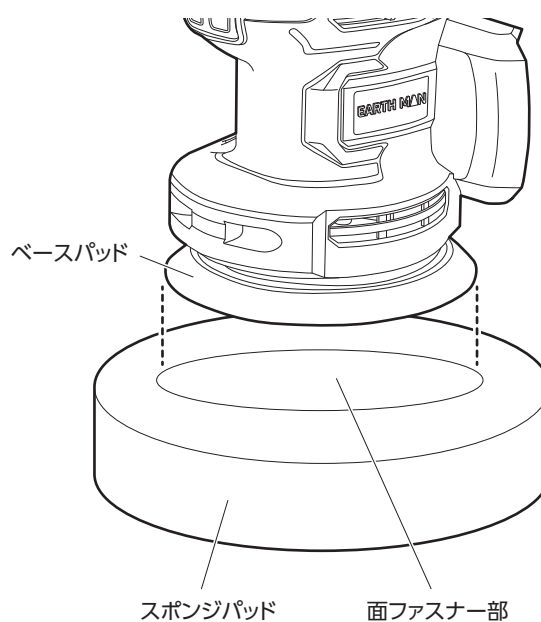
- ベースパッドにごみが付着している場合は取り除いてください。
- 穴位置の合わない、又は穴のないサンディングペーパーを使用するとダストカップに研磨粉をためることができませんので注意してください。

スポンジパッドの取付け

ベースパッドとスポンジパッド裏面の面ファスナー部をしっかりと貼り合わせてください。

取り外し

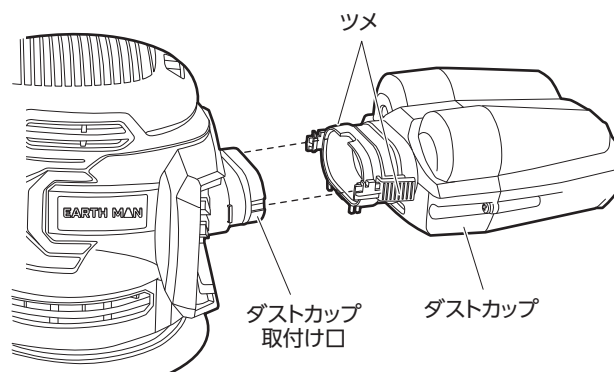
取り外すときは、取付けと逆の手順で行ってください。



ダストカップの取付け

右図の向きでダストカップとダストカップ取付け口を合わせ、ダストカップを差し込んでしっかりと取り付けてください。

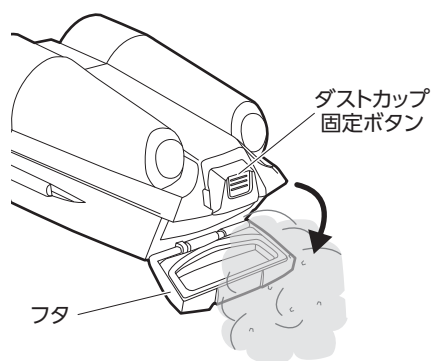
取り外すときはダストカップのツメを両側から押し込みながら、本体から引き抜いてください。



ポリッシング作業時はダストカップは使用しません。

研磨粉の捨て方

ダストカップ固定ボタンを押し込むと、ダストカップ後方のフタが開きます。溜まった研磨粉を捨ててください。



- ダストカップは研磨粉の一部を集めるためのものです。
- ダストカップの研磨粉はためずにこまめに捨ててください。研磨粉を捨てずに使い続けると本体内部に研磨粉がたまり、故障の原因となります。

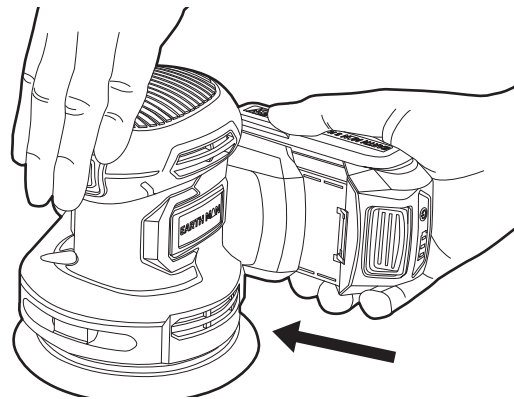
バッテリーパックの取付け・取り外し

⚠ 注意

バッテリーパックを本体へ差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

●取付け

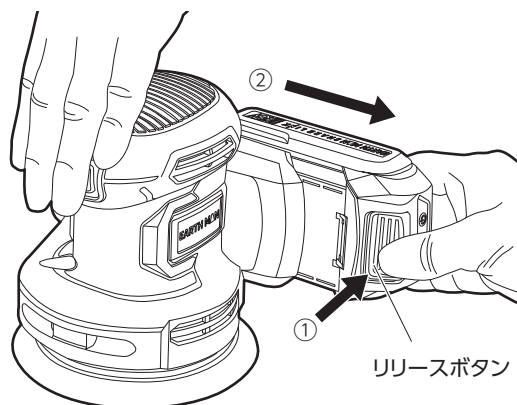
本体とバッテリーパックのスライド溝をきちんと合わせて、差し込んでください。



「カチッ」と音がするまで押し込んでください。バッテリーパックがしっかり固定されていることを確認してから使用してください。

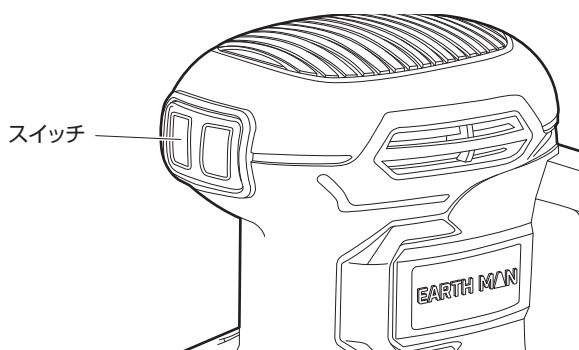
●取り外し

バッテリーパックのリリースボタンを押しながら①、スライドさせて取り外してください②。



操作方法

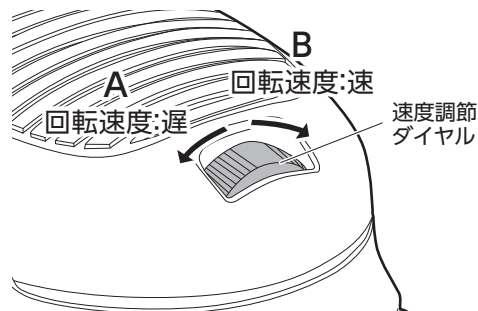
スイッチをI (ON) 側に押すと作動し、O (OFF) 側に押すと停止します。



回転速度の調節

速度調節ダイヤルを回すことにより、加工物や研磨状態に合わせて回転速度を調節することができます。

速度調節ダイヤルを矢印A方向に回すと回転が遅くなり、矢印B方向に回すと回転が速くなります。



使用中、バッテリーパックの残量が少なくなるとパッドの動きが遅くなり、作業効率が落ちます。

作業方法

⚠ 注意

- 作業するときは保護めがね・保護マスクを着用してください。
- 水・研磨液等を使った作業など、本体に液体が浸入するような作業はしないでください。(感電・故障の原因)
- 使用中は、本体を確実に保持してください。
- 手や指で通気孔をふさがないように注意してください。(故障の原因)
- 使用中は、作動部に手や顔を近づけないでください。(けがの原因)
- あまりにも小さな物の加工は危険ですのでしないでください。また、加工する物はしっかり固定してください。
- 加工物の材質・形状・硬さ・加工内容の条件によっては、加工できない場合があります。加工できない物に使用した場合、加工物・本体・先端パーツの破損、本体・先端パーツの寿命低下の原因になります。
- 使用直後の加工物や先端パーツは大変熱くなっています。やけどに注意してください。
- 本体を斜めに傾けて、サンディングペーパーやスポンジパッドの一部だけを当てて使用しないでください。(故障・破損の原因)
- サンディングペーパーやスポンジパッドを加工面に当てずに空転続けると、先端パーツが剥がれて飛び出すおそれがありますので注意してください。

右記の
⚠ 装備・使用環境で
作業してください。

- 作業時は細かな粉じんが発生するため、換気の実施・排気装置・除じん装置・呼吸用保護具等の使用が定められた「粉じん障害防止規制」に従い正しく使用する。
- 回転部に巻き込まれないように長い髪は帽子などで覆う。
- 手袋を使用する場合は滑り止めの付いた物を使用する。
- 作業に適した服装(すそまりの良い長袖・長ズボン)で作業する。
- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は回転部に巻き込まれるおそれがあるので着用しない。
- 使用時はお子様や作業者以外を近づけない。
- 濡れた場所や湿気の多い場所・雨中・塩害を受ける場所では使用しない。
- 作業場所は整理・整頓し、作業の妨げになる物は取り除く。

研磨作業

1. 本体のベースパッドにサンディングペーパーを取り付けてください。
2. 作動部を身体や加工物・作業台から離してスイッチを入れてください。モーターの回転が完全に上昇して安定してから作業を開始してください。
3. 先端パーツが加工面に均一に当たるよう、軽く押さえる程度で作業してください。



⚠ 注意

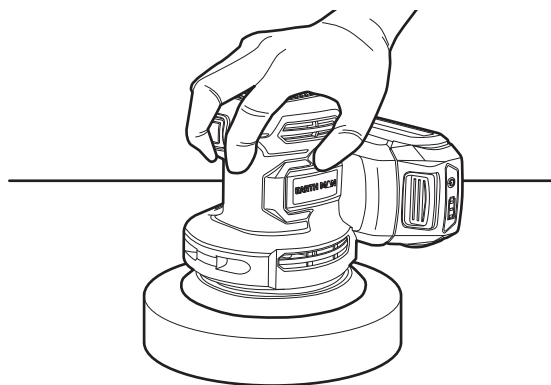
金属の研磨に使用したサンディングペーパーは他の材質の研磨に使用しないでください。



サンディングペーパーは消耗品です。サンディング面や面ファスナー部がはがれてきたら交換してください。

ポリッシング作業

1. 本体のベースパッドにスポンジパッドを取り付けてください。
2. スポンジパッドにヘラなどで薄くワックスを付けてください。回転速度調節ダイヤルを低速に設定して加工面に軽く当て、スイッチを入れてください。
3. ワックスを均一に伸ばすよう、軽くゆっくりと円を描くように動かしてください。



ゆっくりと前後左右に、円を描くように動かしながら作業するときれいに仕上がります。

⚠ 注意

- 液体ワックスなど回転により飛び散るものは使用しないでください。また、ワックスの使用方法・注意事項をよく読み正しく使用してください。
- ごみ・砂・汚れ・古いワックス等が付着していたり、変形・摩耗・ひび割れ・傷があるパッドは使用しないでください。



- ポリッシングは低速回転で行ってください。高速回転で行うと加工面を傷つけるおそれがあります。
- 適切なワックスを使用せずに作業すると効果が得られず、加工面の種類や条件によっては加工面を傷つけるおそれがあります。
- 本体を加工物に無理に押し付けると先端パーツが動かなくなったり、外れたり、本体故障のおそれがあります。

保護機能について

- バッテリーパックには下記の保護機能が付いています。

■ バッテリーパックが高温になった場合

ご使用中にバッテリーパックが高温になると、バッテリー保護のため、自動的に運転を停止します。そのときは十分にバッテリーパックを冷ましてから、再度使用してください。本体が再始動しない場合は使用を中止し、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

お手入れと保管

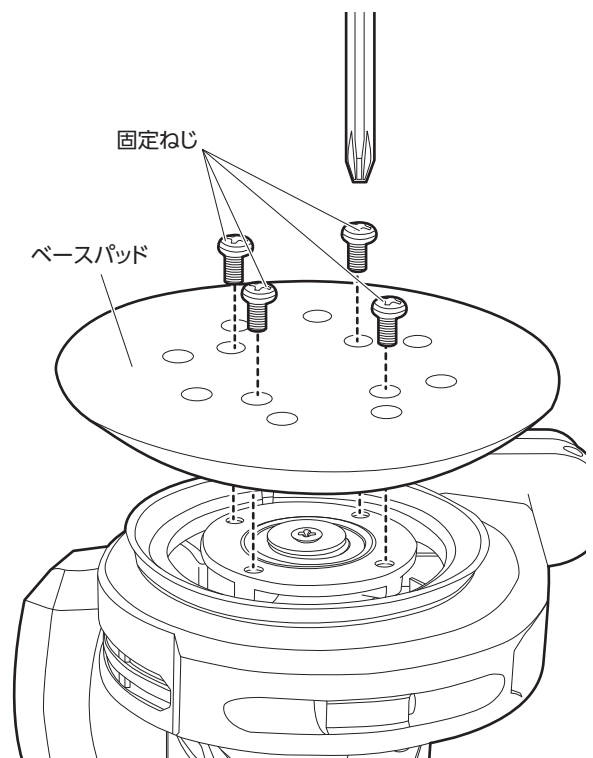
- 汚れの著しい場合は、ブラシで汚れを取り除き、水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- 回転部に切りくずやごみ等が入らないように注意してください。入った場合は逆さにするなどしてごみを取り除いてください。
- 保管するときは必ずバッテリーパック・先端パーツを取り外してください。
- 直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ご自身で分解・改造・修理をしないでください。

先端パーツ

- 摩耗した先端パーツを使用すると効率が悪く本体にも負担がかかるため、使用せず早めに交換してください。
- サンディングペーパーはブラシなどで研磨粉などをきれいに落としてください。
- ベースパッドは消耗品です。ベースパッドの摩耗によりサンディングペーパーが付きにくくなった場合は、ベースパッドを交換してください。ベースパッドのお買い求めは、本製品をお買上げの販売店にお問い合わせください。

ベースパッドの交換

1. 本体のベースパッドを上に向けて手で押さえ、固定ねじ4本を⊕ドライバーで外し、ベースパッドを取り外してください。
2. 取り外したときと逆の要領で新しいベースパッドを固定ねじで取り付けてください。



ベースパッドの交換には⊕ドライバー (No.2) が必要です。セット内容には含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。

故障かな?と思ったら

■ 状態

■ 原因

■ 対処法

動かない。 又は動いてもすぐに止まる。	バッテリーパックの 電池残量が少ない。	バッテリーパックを 充電してください。
研磨作業に 極端に時間がかかる。	先端パーツが 変形・摩耗している。	新しい先端パーツに 交換してください。
	本体を加工物に 無理に押し付けている。	本体を前後左右に円を描くように 動かしながら作業してください。
	回転速度が遅い。	回転速度を速くしてください。 (P.5参照)

※いずれの場合にもあてはまらないときはご自分で修理せず、お買上げの販売店にお申しつけください。
又は(株)高儀ホームページ(本書最終ページ参照)内の「お問合せ」より修理受付をしてください。

仕 様

品 名	EARTH MAN 18V充電式ランダムサンダー
型 式	SL-RSD125-A
J A N コード	4907052 553170
モーター電圧	DC18V
無負荷回転数	約3,200～12,000min ⁻¹
ストローク数	約6,400～24,000min ⁻¹
オービットダイヤ(軌道)	約2.4mm
ベースパッドサイズ	約125mm
ペーパーサイズ	約125mm
スポンジパッドサイズ	約150mm
本 体 サ イ ズ	約長さ290×幅225×高さ145 (mm) ※ダストカップ含む
質 量	約1.2kg (ダストカップ含む)
使用環境温度	5～40℃
対応バッテリーパック型式	SL-182BP-A／SL-184BP-A／SL-185BP-A
対応充電器型式	SL-18SBC-A／SL-18FBC-A
原 産 国	中国
期 待 寿 命	5年

※期待寿命とは取扱説明書に基づき正しく使用した場合に使用可能と推測される期間です。期待寿命を超えて使用する場合は、安全を確保するために販売店もしくは当社で保守点検をおすすめします。(有償)
※本製品は当社純正の充電器・バッテリーパック以外は使用できません。

●当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

別売品のご紹介

- 本製品をお買上げの販売店又は(株)高儀ホームページ(本書最終ページ参照)内の「お問い合わせ」より
お買い求めください。ご注文の際は、下記の「品名・型式・JANコード」をお伝えください。

品名	18V専用 2.0Ah バッテリーパック
型式	SL-182BP-A
JANコード	4907052 341319

品名	ランダムサンダー用ペーパー #60 5枚入
型式	—
JANコード	4907052 555280

品名	18V専用 4.0Ah バッテリーパック
型式	SL-184BP-A
JANコード	4907052 341326

品名	ランダムサンダー用ペーパー #80 5枚入
型式	—
JANコード	4907052 555297

品名	18V専用 5.0Ah バッテリーパック
型式	SL-185BP-A
JANコード	4907052 341333

品名	ランダムサンダー用ペーパー #120 5枚入
型式	—
JANコード	4907052 555303

品名	18V専用充電器
型式	SL-18SBC-A
JANコード	4907052 341340

品名	ランダムサンダー用ペーパー #240 5枚入
型式	—
JANコード	4907052 555310

品名	18V専用急速充電器
型式	SL-18FBC-A
JANコード	4907052 341357

品名	ランダムサンダー用ペーパー #320 5枚入
型式	—
JANコード	4907052 555327

※別売品は予告なく生産を終了する場合があります。

保証規定

- この保証規定は本体についての内容です。
- この保証規定は国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

- 本製品の無償保証期間はご購入日より6か月間です。
- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、無償で修理致します。
- 販売店・ご購入年月日を証明できる物が保管されていない場合、保証期間内であっても有償見積となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書と販売店・ご購入年月日を証明できる物をご持参のうえ、ご購入の販売店にご依頼ください。
販売店に持ち込めない場合は、(株)高儀ホームページ内の「製品サポート」より修理をご依頼ください。

1. 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
2. 保証期間内でも次の場合は有償となります。
 - 取扱説明書に従わない使用及び使用者ご自身での修理・分解・改造による故障及び損傷。
 - 外部要因に起因する故障及び損傷。
例:輸送中・移動中・落下等
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の災害・異常電圧による故障及び損傷。
3. 付属品・消耗品には適用されません。
4. この保証規定は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
5. 保証規定は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 保証期間経過後の修理については、ご購入の販売店又はホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
 - ご自身で分解・改造・修理をしないでください。

輸入発売元  株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

※修理(見積り含む)・部品購入は、ご購入の販売店
又はホームページからお問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00 (土日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>

ホームページは
コチラ



■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがあります。個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。